

| | |
|-------------|---------------|
| 資料提供 | |
| 平成27年4月1日 | |
| 担当 (担当者) | 県立図書館 (網浜) |
| 電話 | 26-8155 |

俳人・尾崎放哉の自筆句稿をふるさと鳥取で常設展示します

鳥取県立図書館では、尾崎放哉生誕130周年記念事業として、4月7日の放哉展を前に、放哉の自筆句稿の複製を8点作成し、郷土資料室ふるさと文学コーナーの「尾崎放哉コーナー」に展示しました。自筆句稿は彼の終焉の地である小豆島で保管されていますが、このたび土庄町教育委員会の御協力により、初めて複製作成が実現し、ふるさと鳥取での常設展示が可能となったものです。

記

1 自筆句稿（複製）

代表句「足のうら洗へば白くなる」、「障子あけて置く海も暮れ切る」、「入れものが無い両手で受ける」、「咳をしても一人」、「墓のうらに廻る」等を含む8点。師匠の荻原井泉水の批点や添削が朱で入った貴重な資料です。

2 展示開始

平成27年4月1日（水）

3 場 所

鳥取県立図書館2階

「ふるさと文学コーナー」尾崎放哉コーナー

※4月は図書館入り口を入って右側にも特別展示します。

